

教育基本法改悪に反対する10・14集会(東京・明治公園)



No.389

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連会館  
Eメール chian@plum.plala.or.jp  
電話 03 5842 6461  
FAX 03 5842 6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

# 人間破壊の政治は戦争への道

福岡県の中学二年の男子生徒がいじめで自殺。しかし、いじめについては『一件もあつてはならない』とする文科省のしめつけで全国各地のいじめの報告ゼロという偽りの実態が明るみに出ました。政府の主導で国家統制と競争を持ち込む教育基本法改悪の狙いは、子どもの命までを奪うことになるのです。教育現場に限らず、くらしの面でも、生活保護世帯が百万台を超え、自殺が三万人という格差社会がもたらしたいのちとくらしの破壊の深刻さをしめています。

労働者は年収三百万円以下の人が八百八万人も増え、増大する生活保護水準以下の「ワーキング・プア」が社会問題となっています。規制緩和によって派遣・請負の雇用形態は一気に増大し、同じ仕事をしても、正社員で時給にすると三千五百円が、派遣の労働者にはピンハネによって手元には千円しか残らないという無茶苦茶な貧困状態です。「偽装請負」、サービス残業など労働時間制度そのものが破壊されているのです。

人の命と尊厳を破壊する政治は戦争への道に通じます。安倍首相が言う「血の同盟」は世界の日米軍事同盟という戦争国家づくりに通じます。教育基本法と憲法改悪反対の運動はまさに戦争と暗黒政治を阻止する広大な国民的運動で、同盟の国賠署名運動もその一端です。来年の地方選、参院選勝利をも展望しながら、年末・年始の課題を力一杯やりとげましょう。

## 主 な 記 事

中央常任理事会報告	2
平和と連帯の旅、韓国を訪ねて	3
顕彰碑/鶴彬「川柳碑」	4
抵抗の群像/夜明けを信じて 水谷安子さん	5
同盟歌壇/碓田のぼる選	6
書棚/『人生の同行者』 上田耕一郎著	7

任会  
常理事

# 安倍タカ派内閣と対決し 年末諸課題を意気高く

10月6日の中央常任理事会は、

6月中央理事会の方針を具体化した各都道府県本部大会(総会)と、9月一斉に開かれた地方ブロック会議での討議と豊かな実践にもとづき、当面、年末に向けた活動について討議し、①50万国会請願署名の充足早い取り組み②1万6千会員の早期達成③年末財政活動の強化を重点課題として取り組むことを確認しました。

## 安倍新内閣と同盟の任務

安倍新内閣は、過去の侵略戦争と植民地支配に対する歴史認識の問題で、いわゆる「村山談話」を否定し、憲法と教育基本法改定を正面に掲げており、その危険性を軽視することは出来ません。

憲法改定では、「解釈改憲」での集団的自衛権を行使、「五年以内に明文改憲をおこなう」として世界的規模で戦争をする国づくり

であることは明白です。

教育基本法改定を最重点課題と位置づけ、憲法改定と結びつけてすすめるようとしていることは重視しなければなりません。さらに、改憲手続き法案、共謀罪新設法案、防衛省昇格法案など前国会からの継続になっており、代用監獄制度の存続、米軍と自衛隊の一体作戦を可能にする態勢づくりもねらっています。

しかし、葛飾ピラ配布弾圧事件での8月28日東京地裁での無罪判決や、日の丸・君が代の強制に対する9月21日東京地裁での違憲判決などきわめて重要な意義をもっています。

同盟は、各分野でのたたかいとも連帯し、全国で5千を超えている「九条の会」とともに、その先頭に立つてたたかいます。その中で治安維持法犠牲者が生命をかけたたたかい、戦後憲法の土台を作

つた先覚者であったことを知らせ日本政府に対する謝罪と賠償の要求を強めます。

## 50万請願署名目標の突破を

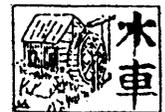
署名の到達はこの数年30数万余にとどまり、昨年は全都道府県目標合計は50万5、700でしたが、最終到達は31万2、777人で目標の62%に止まりました。6月全国理事会は、今日における同盟の運動と国会請願署名の特別の意義を明確にし、50万目標を必ず達成することを意思統一しました。

いま、安倍新内閣のもとで、胸を張って国民の中に広げることです。とくに、来春は4月にいっせいで地方選挙もあり、50万目標達成のためには各都道府県本部、支部の充足早い取り組みが重要です。

各都道府県本部、支部は、

① 年内署名目標を決め、憲法改悪反対と請願署名を両手に持つて署名目標を必ずやりとげる。

② 署名活動への参加同盟員を増やす。団体署名協力団体にも個人署名の協力を訴える。



いじめで中学生が自殺。学校や教委はこの痛ましい事件の真実をあくまでかくそつとします。昨年

の小学生の自殺の場合など、「遺書はなくした」とまで多くの高校で必修課目の不履修という深刻な事態が明るみに出て、教育への不信や怒りの声があがっています。しかし、当の文科大臣や政府は、こうした異常さの根源に立ち入って姿勢を正す態度をみせぬどころか、教育基本法改悪案の強行めざして狂わんとしています。国が権力で教育を支配・統制し、競争原理導入で差別・選別をいっそう煽り立てる改悪案では、火に油を注ぐことになるのは明白です。学校現場で教職員が一人ひとりの知恵と力を存分に出し合える、集団としての協力関係を確立し、教育行政はそれを援助し、その条件づくりに全力を尽くしてこそ、真の教育再生は可能です。それが、教育基本法の真髄ではありませんか。「むしろいまこそ教育基本法に立ちかえれ！」と大声で叫びましょつ。(巽)

③ 同盟中央が作成している「署名推進リーフ」「絵手紙はがき」を活用する。

④ 国会請願前に地元国会議員への事前の働きかけをつよめる。

### 全地方議会へ陳情・請願を

今日まで350市町村で請願・陳情を採択する成果を挙げていますが、この間、大規模な市町村合併がおこなわれましたので、改めて再点検し、全地方自治体への請願・陳情活動をすすめる。

### 一万6千会員の早期達成を

会員拡大は、全国大会後10月1日までに実増で603人拡大(14,722人)となった。この間、昨年10月から本年10月まで13カ月連続拡大し、36県本部が増勢で会員拡大の努力が全国的に始まっている。大阪、鳥取、岐阜などすでに目標を突破した県本部も生まれ、各県本部がいつまでに目標を突破するかを決め早期に一万六千人を突破する。会員拡大は組

憲法九条を「五年以内に変わる」と登場した安倍内閣のもとで「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟の活動はますます重要になっています。

あらためてこの協力を感謝するとともに、年末を迎えるにあたり財政活動強化を心から訴えるものです。

一、機関紙「不屈」で会員と

## 財政活動の強化を訴えます

三、新年号の名刺広告を昨年を上回る規模でとりくみましょう。四、『治安維持法と現代』〇六年秋季号などを普及し、代金の納入を確実に。

織の強化、財政の健全化にとつてもその要であり、全県本部で目標を突破することを確認しました。

### ——会議での発言——

すべての自治体に請願・陳情を

山形 島津 昭

山形では一〇自治体で採択して以降すすんでいない。議会によっては、委員会でも可決しても本会議で逆転されたところもあります。そこで腰をすえて中間総括をや

り、今年の県本部大会で地方議会対策の特別委員会を作り、第一回目を酒田で開き、近江谷さんも参加され、地元からも役員五、六人が参加。ここで深めるべき点として、請願書の資料が議員に読まれていない。昭和の戦争も知らない議員が多い時代ですから斜めにみてもわかるやさしいものにする。二つ目は、議会事務局だけでなく議員一人ひとりとくく人道的問題として腹を割って話しあうことの重要性があらかになり、次回会議でさらに深めることにした。

### 近江谷さんの補足発言

秋田では署名集めの最大の力になつていのが、地方議会でも採択されたことを知らせていることです。町議会でも採択されたんですよ。」と訴えると、「連合」の組合でも署名に快く協力してくれます。

### 五〇〇名会員の早期実現をめざして

福岡 橋本 幸夫

直方支部では国賠署名を有権者の一〇%、一万名にしようと思つてきました。ところが実際に動ける会員二〇名で一万の署名は大変と協力してくれた一六七名の方に入会を訴え八〇名を目標にとりくんでいます。同じく大牟田支部は三年前の二名から八八名になり、これを一〇〇名にする。一万五千の署名目標をもつ福岡支部では一八〇名の会員を二五〇名にし、署名目標一万五千をやりきる決定など、各支部合計で三万の署名、五〇〇名の会員拡大、新支部の結成を決め、早期実現をめざしています。

## 平和と連帯の旅 韓国を訪ねて

安藤 郁子 (ツアー事務局長)

初めて韓国へ平和・連帯の旅に十月十二日～十六日の五日間行ってきました。全国から四十一名の参加があり仁川国際空港で成田組、関空組が合流し、その夜は温陽温泉で過ごしました。

次の日まず日本の植民地支配からの独立運動を歴史的に展示してある独立記念館を訪れ、館長に針谷宏一団長から私たち団体の「再び戦争と暗黒政治を許さない」活動を伝え、その挨拶文と治安維持



「国家保安法廃止市民の集い」との交流

法犠牲者の針谷武夫・安藤敏夫両氏についての「不屈」掲載記事に韓国語訳を添えて贈りました。

午後は日本軍「慰安婦」の方々が生活している「ナヌムの家」で被害者の生々しいお話を聞き、团长から千羽鶴、みんなが持ち寄った記念品を贈りました。夕方ソウルに着き、従軍慰安婦への謝罪と賠償を求め活動しているNGOの韓国挺身隊問題対策協議会の事務所で共同代表のシン・ヘスさんのお話をうかがいました。シンさんのお話によると西大門刑務所のそばに「戦争と女性のための博物館」を建設計画中だそうです。そのあと、ビデオを観賞しました。

十四日は朝鮮独立のために闘った運動家たちが捕えられ拷問、処刑された西大門刑務所歴史館を見学しました。拷問の様子の模型があちこちにあり、うめき声が生々しく聞え、膝をからめてようやく一人が入れる独房は体験出来るよ

うになっていました。そのあと治安維持法違反容疑で一九四三年逮捕・起訴され一九四五年二月に福岡刑務所で獄死した詩人の尹東柱の詩碑や伊藤博文を旅順で暗殺した安重根記念館を訪れました。夜は市民団体「国家保安法廃止市民の集い」の方々、インハ大学教授、聖公会の神父、民主労働党常任活動家顧問弁護士など八名の方々と交流しました。国家保安法廃止のための韓国での行動などの質疑応答が行われたり、韓国の民主化運動の歌やオカリナの伴奏で「青い空は」を合唱したりプレゼントしたりして時のたつのも忘れ、九時過ぎに閉会しました。

最終日は三十八度線の統一展望台やドラマ「チャングムの誓い」のロケ地見学を行い、夜はコリアハウスで宮廷料理や伝統舞踊を楽しみました。

この韓国訪問には国際人権活動日本委員会、日本国際法律家協会、新日本婦人の会、東京農民連等の友好団体からも参加され、七名の国賠同盟新入会員を迎えることが出来ました。

### 感想

東京都 浜田芳子

「あなた方に罪は無い。だが、責任はある、日本人として。」とナヌムの家のイーさんが、〇五年、東大で話されました。

今回、イーさんにはお会い出来ませんでした。韓国は歴史と運動を知ることが出来、本当に良かったと思います。国賠同盟の一員としても、二度と戦争をする日本にしないよう運動を拡げる責任を感じております。

大阪 前田泰子

着いた翌日、最初の訪問先はナムルならぬ元従軍慰安婦の「ナヌムの家」。

韓国人が熱烈崇拝する抗日の英雄がなんとたくさんいることか！「安重根」「柳寛順」「ミンピ」etc. 子どもの時から繰り返し歴史の真実を学習する熱き韓国人。歴史を学べず、無知で冷めて忘れやすい日本人。今回は重く考えさせられる旅でした。

旅費はもっと工夫して安くしたい。

### 顕彰碑 核動

#### 岩手県盛岡市

## 「手と足をもいだ丸太にしてかへし」

### 鶴彬「川柳碑」

「手と足をもいだ丸太にしてかへし」の句碑は岩手山をあおぐ盛岡市松園の観音墓地の高台に建っている。碑の裏にこうある。

「鶴彬 本名 喜多一 一九〇九年（明治四二年）一月一日石川県河北郡高松町に生れる。昭和初期、軍国主義体制に反対し、平和を希求する川柳作品を発表し続けた。治安維持法違反で捕らわれたが、最後まで戦争反対を叫び、一九三八年（昭和十三年）九月十四日獄中病死。享年二九歳。盛岡市光昭寺に眠る。」



松園・観音墓地の句碑

鶴彬は十六歳で川柳をはじめ、ナツプ全日本無産者芸術連盟高松支部をつくり、金沢歩兵七連隊で反戦活動をおこない治安維持法違反で軍法会議により懲役二年。

その後、「川柳は一つの武器である」と反戦川柳をつくり続け、一九三七年ふたたび治安維持法違反で検挙され、翌年、獄中で絶命した。兄が盛岡にいた関係で特高が監視するなか、光昭寺に葬られた。

戦後、「鶴彬全集」を編纂した一叩人がこの墓を十年かけて探したのが一九七六年。以後、岩手の川柳界では毎年鶴彬祭を続け、一九八二年に句碑が建立された。同盟では結成以来、歴史散歩で顕彰してきたが、ことしの命日に鶴彬を語る盛岡の会を結成した。

牛山 靖夫 (岩手県本部署務局長)

### 時の焦点

北朝鮮の核兵器開発。プルトニウム五〇キロを保有し、核弾頭は七、八発と推定され、こんどの地下核実験は、一キロ以下の小型核兵器が一〇キロクラスの実験が失敗して一キロ以下の核分裂にとどまったといわれます。

北朝鮮の核兵器開発自体は、核不拡散、核兵器廃絶をもとめる国際世論に真向から逆らうものであり、かつ北東アジアの平和をいぢるしく損ない、戦争の危機すらもたらすものです。

六一年前のヒロシマ・ナガサキの被爆で北朝鮮関係者をふくめ、約三万人の在日朝鮮人が犠牲になったといわれます。被爆国民を抱えた北朝鮮が、たとえ外交上の政治カードとしても、非人道的で最大の大量殺傷兵器の核兵器をもてあそぶことは決して許されません。折角の六カ国協議に背を向けてのいわば軍事的挑発に、現時点での国際社会の制裁措置は至当といえます。しかし大事なことは、核兵器問題

## 北朝鮮の核実験

は世界的にも歴史的にも巨視的にとらえることです。

世界の核兵器の現状は、米・ロ・英・仏・中の五カ国だけで三万三〇〇発、それにインド、パキスタン、イスラエルが数百発保有しています。北朝鮮の七、八発をゼロにしても、人類現実の恐怖を払拭できません。米ソ冷戦解消後、事実上唯一の核超大国となったアメリカの自国の国益中心のダブル・スタンダード（二重基準）の核政策が、核兵器廃絶や核軍縮を妨げてきています。北朝鮮が目の敵にする反面、いつの間にかとがめられることなく、イスラエルが北朝鮮の十倍以上保有しています。去年の「核不拡散再検討会議」の歴史的成果をぶちこわし後退させたのもブツシユ政権。

当面、北朝鮮の暴走を抑え、第二、第三の「イスラエル」や「北朝鮮」の輩出を阻止するためにも、核超大国アメリカはじめ、既存の核保有国の「核兵器廃絶」に向かつての国際的責務が問われています。(元)

## 抵抗の群像

夜明けを信じて…



### 水谷安子さんと 家族のたたかい

水谷さんは一九一三(大正二)年、三姉妹の次女として満州の奉天に生まれました。

大きな薬屋を経営していた父は、四十歳のとき鉄道事故に遭い死亡。当時二歳の安子さんは、母に連れられて郷里富山に帰ります。が、姑や小姑に追い出され、母は生活のためにバラバラに生きるしかありませんでした。水谷さんは一〇〇円と衣装持参で増山家の養女となりましたが、粗暴な養父の児童虐待から一時は遊郭に預けられ、その後母の実家に引き取られて母のもとで小学校から高等科、そして富山女子師範に進学、寮生活に入りました。

二年生の時、後の憲法学者田畑忍氏の夫人ハルさん(英語担任)と出会い、社会主義の影響を受け

ました。知識欲、読書欲の強かった青春時代でした。

昭和初期の金融恐慌と非合法下の日本共産党の活動という激烈的な社会状況のなかで、『無産政治教程』『共産主義のABC』などの勉強会に参加しますが、友人とともに安子さんも逮捕され、女子師範を退学処分となります。しかし身を粉にして働いていた母は一言の愚痴も言いませんでした。

安子さんは姉を頼って上京、一時は家庭教師もしましたが、一九三三(昭和八年)八月、亀戸の無産者託児所の保母として働きます。住み込みで無給でした。十二月には宮本顕治が赤坂で逮捕と報道され、丁度皇太子誕生で日本中が湧いていた頃でした。その後水谷さん一家は関東消費組合連盟加盟の

第一合同消費組合に加入し、第一合同のセツルメントで働きます。

一九三六(昭和十一年)三月、水谷信雄氏(戦後東京大田区で日本教員を経営、労働運動、民主運動の拠点に)と結婚。三八(昭和十三年)には、東京大田区の日本電機でトレスの仕事で働いていた妹が中西三洋・篤さんたちの学習サークルに参加して検挙(京浜グループ事件)、三田署に留置されました。

第一合同消費組合に加入し、第一合同のセツルメントで働きます。というようなことを喋ったからでした。密告による逮捕でした。姉は不敬罪として栃木刑務所に送られました。

そして、一九四四(昭和十九年)三月、安子さんと母たちが住む

東京大田区久ヶ原の家が、突然警察に襲われました。検挙の理由もわからないまま水谷が逮捕、続いて妹が、さらに安子さんも検挙されます。水谷は大物と見られ警視庁に、安子さんは六本木署、妹は品川署に。母は姉が居るからまかせられると安心していたところ

が、実は姉が真つ先に高輪署に連行されていたことが後でわかりました。理由は、姉が悪意にしていた近所の未亡人とのフトした会話の中で、日々激しくなる戦争と、戦争の大もどである天皇を呪い、天皇一家を殺しても飽き足りない

ひとり残された母は、ここから奮

い立ちます。一人の婿と三人の娘の差入れのために、朝早くから弁当をつくり、東京都内をかげずりまわります。おかげで検挙されてから七ヶ月間続いた母の苦闘の差入れが、後の四人の一年間の獄中生活を支えることになったのです。差入れの時に逢う母の姿は夕フでいつもと変らぬ元気でした。

考えれば、母は数え年三十歳で夫の急死に逢い、三人の遺児を抱えて路頭に迷うハメに立たされたにもかかわらず、愚痴一つ言わず子供と行動に共にし、自らも働いて家族を支えてくれたのです。

さて、敗戦後の十月十日釈放の日、すでに栃木刑務所を釈放されていた姉と妹が出むかえ、そろって焼け野原の東京で電車を乗り継ぎながら、久ヶ原に帰ることができました。十九年三月以来の家族の邂逅でした。

(「不屈」神奈川版より)

同盟歌壇

碓田のぼる選

老いどちの皆逝きひとり鎌倉の森に籠もりて空仰ぎおり  
東京都 若林 義文

〈評〉ひとり長命を保ちつつ、今の世にあることの深い感慨である。

補聴器を付けつつ小さき声を出し「初恋」の歌とにも歌えり  
静岡県 江川 佐一

〈評〉一首ほのぼのとした思いと、そこはかとなげ哀感をにじます。

へルパーさんに言われるままに髪刈りて今日から私の秋がはじまる  
和歌山県 中平 喜祥

〈評〉髪を刈って気分爽快な感じを、結句でよくあらわしている。

岐阜県 和田 昌三

「アメリカのお陰で日本は安全」との老いを説き伏す力の欲しき  
新潟県 加茂川ハル子

新潟県 加茂川ハル子

「新潟のお米は美味しい」とワイキキの日系傭人に言いたり

〈評〉外国に住む日系人を見た、まぎれもない血のつながりである。

福井県 日野 岳人

原発の事故から二年すぎぬればはや安全と再運転か

〈評〉のどもと過ぎればのたとえあり。またもや「安全神話」かと。

東京都 山崎 元

少年よ抱けの「大志」途上なれば秋風沁みる身となりてなお

〈評〉「少年よ大志を抱け」のクラークの言葉、今も胸に燃やすが。

書棚

『人生の同行者』

上田耕一郎 著

新日本出版社刊 一、八九〇円

本書は、上田耕一郎さん(元参議院議員・元日本共産党副委員長)が、それぞれの分野で、日本を代表する知識人、小柴昌俊・鶴見俊輔・小田実の三氏と対談した記録である。

最初は、神岡鉱山の地下に独創的な観測施設を建設し、超新星の爆発を捉え、「ニュートリノ天文学」という画期的な新分野を開拓した功績で、二〇〇二年度のノーベル物理学賞受賞に輝いた小柴昌俊氏。二人は、敗戦の年の九月から三ヶ月、東大南寮で相部屋の仲。

宇宙の誕生から平和の問題へと話は弾む。

二人目は、元「ベ平連」の中心的活動家で「九条の会」のよびかけ人でもある小田実氏。二五年ぶりの再会。戦後六十年でもあることから、戦争体験の話からはじまり、憲法九条と戦後日本の政治、阪神・淡路大震災と国家の本質、世界も日本も変革の可能性が生まれているなど。いずれも元気をもらった。



(幹)

短 信

来年2月、大阪で初の多喜二祭

大阪でも「多喜二祭」をやろうと同盟府本部を中心に実行委員会を立ちあげ、成功をめざす取り組みを始めています。

「不屈」大阪版によると開催は来年2月17日。これに向けて府本部は多喜二祭の成功をめざして「多喜二祭」を行って、多喜二の文学と人生から学ぶと呼びかけて集会を行います。



9月29日の第一

回サロンでは、文芸評論家で民主主義文学会幹事の千頭剛氏が多喜二の魅力について講演、21名が参加しました。10月20日の第二回サロンでは「小林多喜二って誰?名前さえ知らなかった青年たちが挑む多喜二劇の舞台裏」を演出家の樋口忍氏が話します。いずれも会場は同盟府本部事務所。初の多喜二祭成功が期待されます。

野呂栄太郎記念碑小公園に石碑完成

北海道長沼町の野呂栄太郎記念碑小公園の入り口に石碑と記帳台・ポストが完成し、9月11日に除幕式が行われました。

式典には同盟南空知、苫小牧、札幌支部からの20余人を含め33人が出席、日本共産党道委員会の青

山慶二書記長があいさつ、数田亨長沼町議が経過報告して除幕されました。

野呂栄太郎記念碑は1974年に建立され、84年に野呂没後50年の事業として前庭が小公園となりました。野呂夫人の塩沢富美子さんが生前「看板があるといいね」と語っていた遺志を継いで、風間末治郎同盟道本部顧問が呼びかけ、有志によって企画・完成したもの。

なお記念碑小公園のあゆみや野呂記念事業と講演会記録などを冊子として近く発行する予定といたします。(写真は除幕された石碑前での記念撮影)

〈寄贈図書〉

『歌・文集 小田原の海』

江川佐一著 光陽出版社刊

10月12日 韓国平和と連帯の旅41名参加

10月18日 「不屈」編集会議

10月24日 国際人権活動日本委員会代表者会議参加

10月26日 九条世界会議相談会

10月30日 「不屈」編集会議

事務局日誌  
10月2日 日本国際法律家協会理事會参加  
10月5日 中央三役會議  
10月6日 中央常任理事會  
10月6日 全労連へ国会請願署名協力申し入れ

●特集「教育基本法改悪を問う」

『治安維持法と現代』

2006年秋季号 好評発売中

【主な内容】「教育基本法の改悪は何をねらうか」=藤田昌士、「政府の教基法案の全体的な問題点」=俵義文、「自然科学者の目から見た教基法改悪」=松川康夫など三氏が教基本改悪の問題点を詳述。治安維持法弾圧事件関連諸論文。「戦後補償問題のなかで同盟運動の先駆性を考える」論文も、学習に好適です。

A 5版176頁・定価1000円、送料210円。各都道府県本部でお求めを。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

